



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

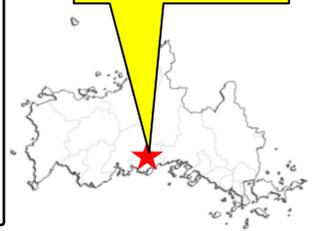
Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。



ちょうげんしょうにん さ ば が わ 重源上人と佐波川

ほうふし やまぐちし
防府市、山口市



1180年に焼失した東大寺を再建するために、重源上人が山口市徳地で木材を調達し、佐波川の流れを利用して運びました。山の道づくり、川の橋かけはもちろん、作業をする人の食料の調達や負傷の治療など、当時60歳をこえていた重源上人の苦労は相当なものだったことでしょう。

江戸時代の街道絵図「行程記」に、佐波川の名前の由来について、次のようなおもしろい伝承が書かれています。



作業をしていた人々がしばらく魚を食べていないので元気がなく、仕事が進まないことに重源上人が気づいた。重源上人は、そばにあった木片に「鯖」という字を書き込み、川の中に投げ込むと木片は、たちまち鯖となって泳ぎはじめた。作業をしていた人々が、その鯖をとって食べると、とても元気になったという。それからこの川を「さばがわ」と呼ぶようになった。



さ ば が わ ほうふし
佐波川 (防府市)

重源上人が周防の国に赴任して9年後の1195年に東大寺は無事再建されました。山口市徳地の佐波川沿いには重源上人の像があります。



なっとくニュース 224号も見てね。

重源上人は、防府市の阿弥陀寺に石風呂(国指定重要有形民俗文化財)も造りました。阿弥陀寺には重源上人ゆかりの文化財がたくさんあります。このほか県内にある重源上人ゆかりの史跡を探してみましよう。

